



# 振動試験中のモータ部品の振動可視化技術

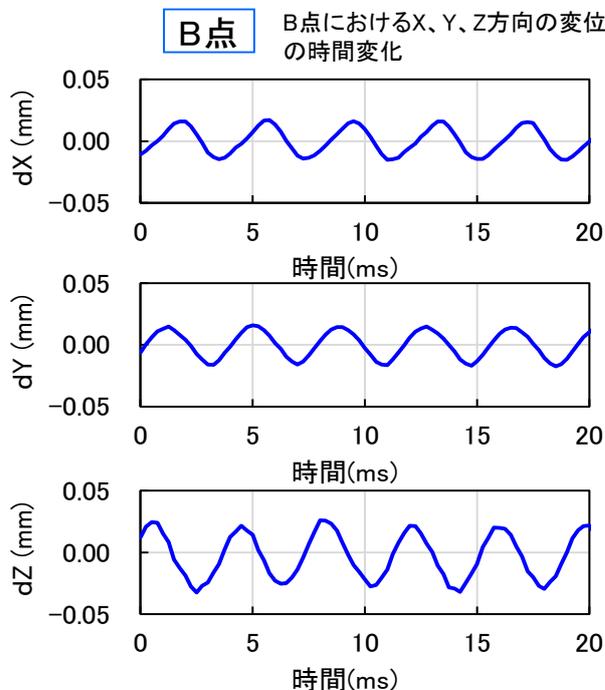
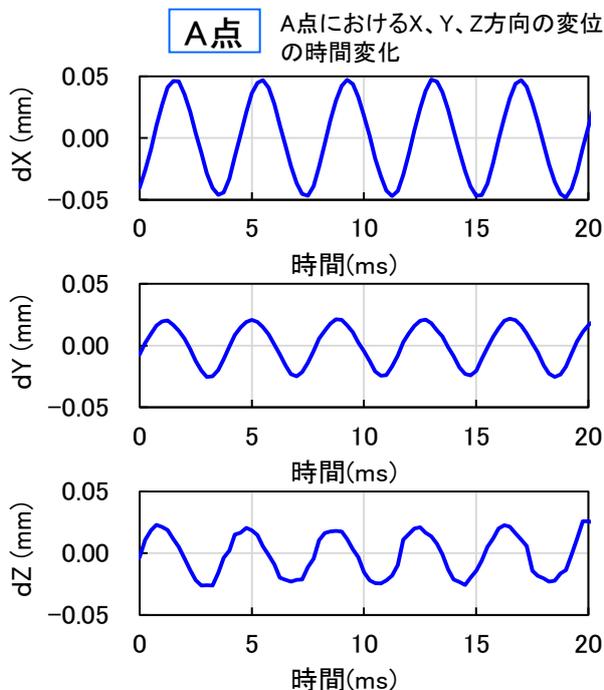
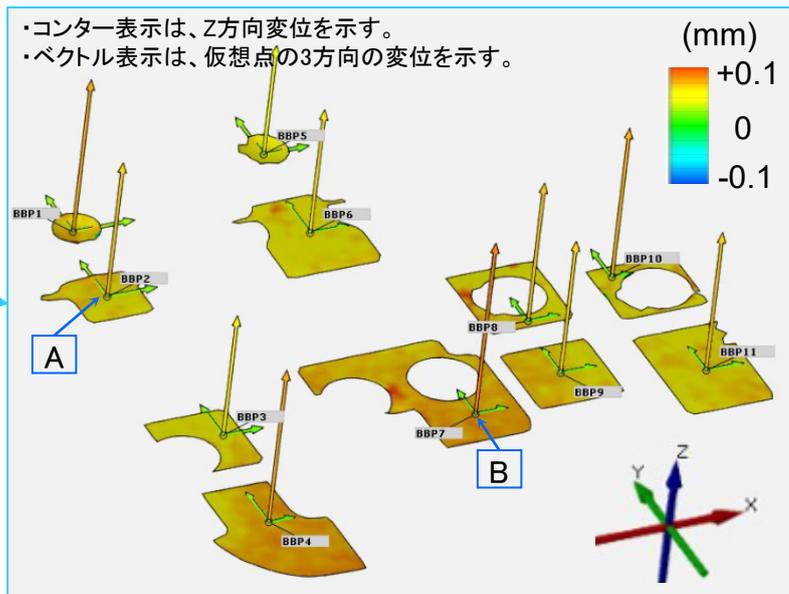
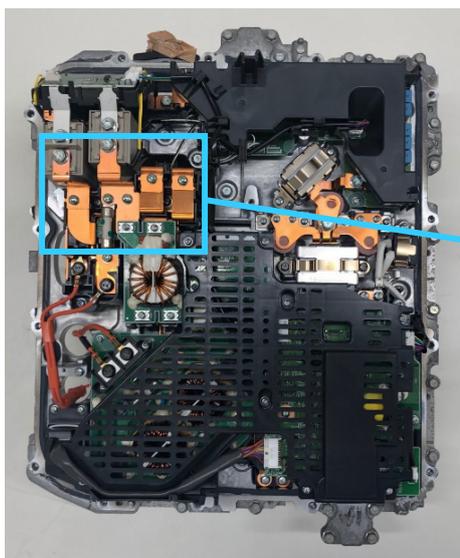
加振中の3次元変位量を画像相関法(DIC; Digital Image Correlation)により定量化いたします。

## 高速度カメラ撮像による3次元解析例

供試品を振動数260Hz、加速度 $25\text{m/s}^2$ の条件で加振し、2百万画素(1920×1200画素)、4000コマ/秒の条件で供試品の振動挙動を実時間で測定しました。その中から一例として、BUS BARの部分(約1150×1200画素)の挙動を下図に示します。

X、Y、Zの3方向の振幅の挙動(変位量、位相)を可視化できます。

- ・供試品: DCDCコンバータ
- ・測定箇所: BUS BAR



※ 当社では、振動試験におけるひずみ、応力、抵抗値、電流等の可視化計測を承っております。また、大気腐食試験や熱衝撃試験等の環境試験等も承っておりますのでお気軽にお問い合わせください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2022 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。